

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


警告

- 門扉は人や車が入り出すためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので、設置の場所・目的に合わせて選択してください。


注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<労働安全のお願い>


注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 扉走行床面は水平に仕上げてください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。
- 施工時には、水糸等を用いて柱とレールの位置を決めてください。

■梱包明細表

【1】 本体

名 称	略 図	員 数
引戸本体		1

【2】 開戸本体

名 称	略 図	員 数
開戸本体		1

【3】 柱セット

名 称	略 図	員 数
ガイド柱		1
ガイドブラケットカバー		1
吊元柱		1
ガイド柱レール固定板		1
レールジョイント		1
ガイドローラー安全カバー		2
調整金具(上)		1
調整金具(下)		1

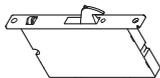
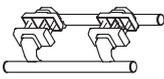
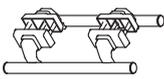
【3】 柱セット (つづき)

名 称	略 図	員 数
ワッシャー		2
ガイドローラー		4
【3-1】M5×12トラスネジ		8
【3-2】φ4×10トラス タッピンネジ2種		10
【3-3】φ4×10トラス タッピンネジ1種		3
【3-4】M10六角ナット 大		4
【3-5】M10六角ナット 小		4
【3-6】M10バネ座金		4
【3-7】M10平座金		8
取付説明書(D478)	—	1
取扱説明書(UD101)	—	1

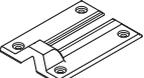
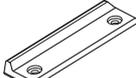
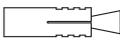
【4】 開き戸当りセット

名 称	略 図	員 数	
		H12	H14
開き戸当り(開戸側)		1	1
開き戸当り(引戸側)		1	1
【4-1】φ4×13 ナベドリルネジ		6	8

【5】錠セット

名 称	略 図	員 数
錠ケース		1
開戸ストライク		1
シリンダー		1
目隠し台座		1
ハンドル(可動)		1
ハンドル(固定)		1
キー		3
ヒンジ(上)		1
ヒンジ(下)		1
ヒンジ裏板		2
ヒンジキャップ		2
ヒンジカバー		2
落とし棒受け		2
【5-1】 M4×10トラスネジ		8
【5-2】 M4×12サラ小ネジ		2
【5-3】 M4×35トラスネジ		2

【6】脱輪防止部品セット

名 称	略 図	員 数
戸車ストッパー		1
戸車ガイド		2
戸車リアーストッパー		1
グリップアンカー		10
【6-1】 M6×16六角ボルト(SW)		10
【6-2】 M6平座金		10

【7】レールセット

名 称	略 図	員 数
レール		1

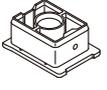
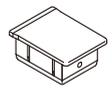
【8】持ち送りセット

オプション

名 称	略 図	員 数
外開き持ち送り		2

■ 梱包明細表 つづき

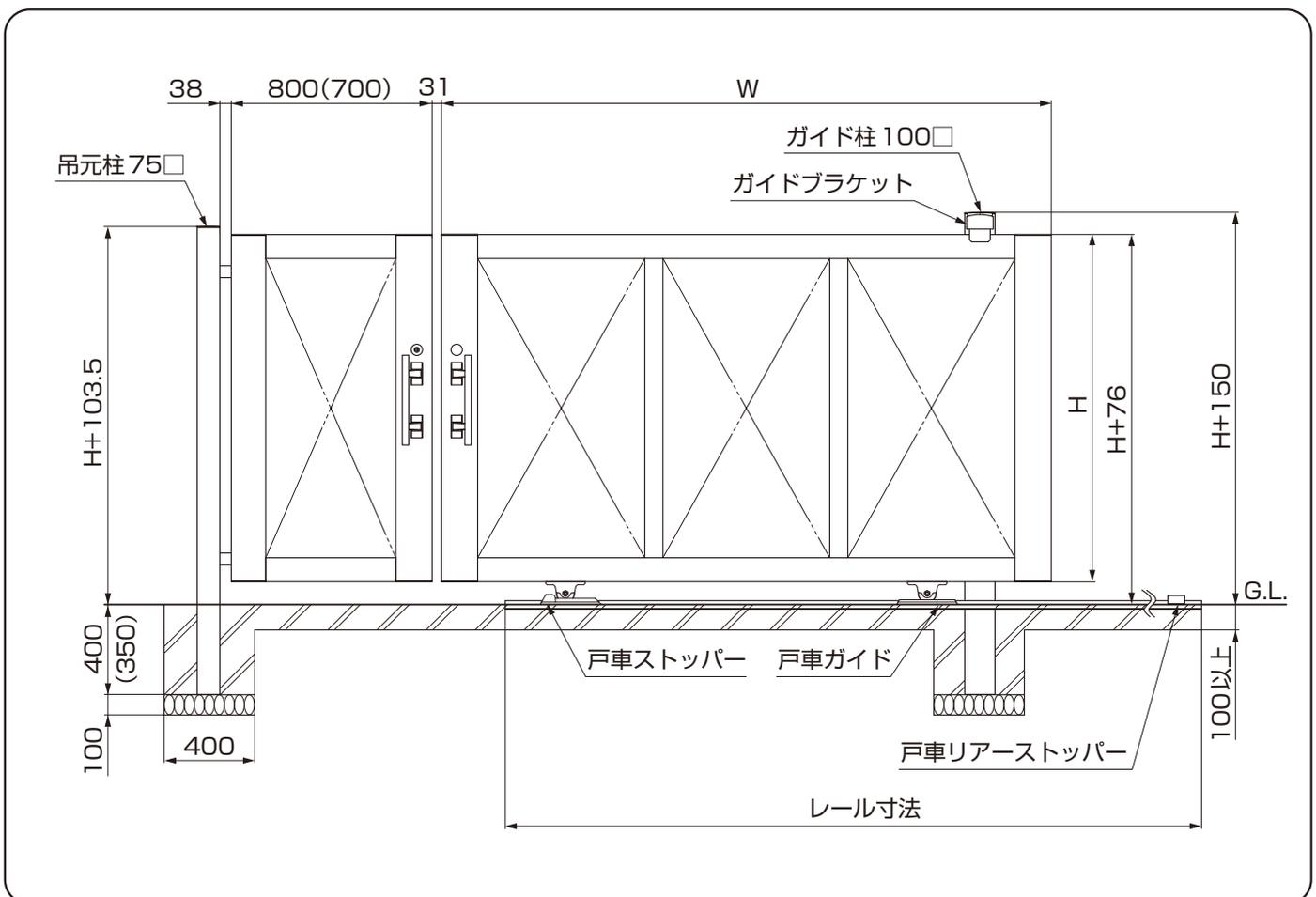
【9】 落とし棒セット

名称	略図	員数	名称	略図	員数
落とし棒		1	落とし棒下キャップ		1
落とし棒カバー		1	落とし棒受け		2
落とし棒フロントカバー		1	【9-1】 M4ターンナット		4
落とし棒ガイド		1	【9-2】 φ4×20トラス タッピン3種(D=8)		4
落とし棒上キャップ		1	【9-3】 φ4×10サラ タッピン3種(D=6)		2
			【9-4】 φ4×10サラ タッピン2種(D=6)		2

1. 各部の名称

※図は引戸が右引き、開戸が左勝手です。

※図はH14寸法です。()内寸法はH12の場合です。



2. 基本寸法図

※図はW07開戸付タイプの寸法です。()内寸法はW08開戸付タイプの場合です。

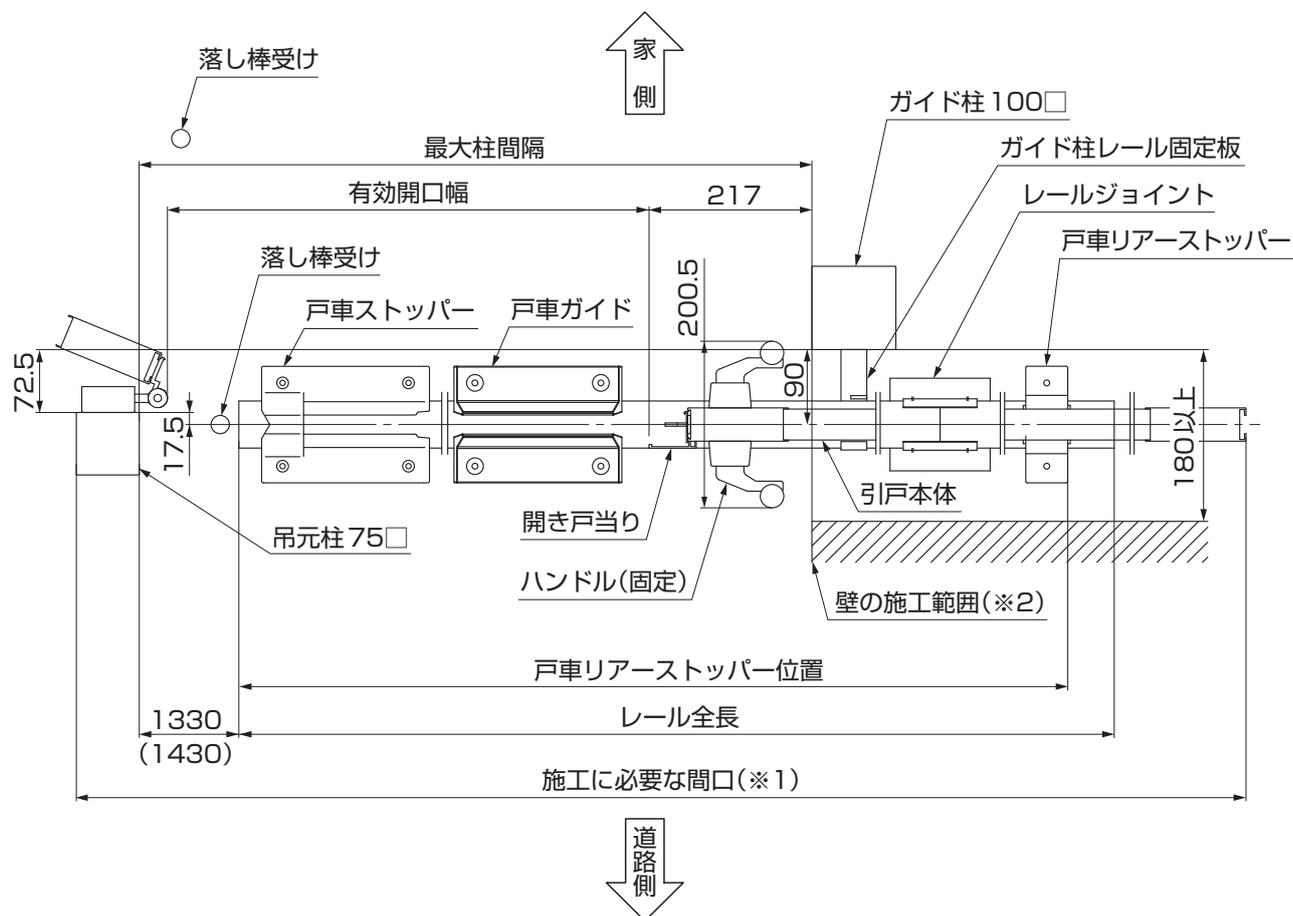


表2-1 施工寸法表(W07開戸付きタイプの場合)

名称	施工に必要な間口	有効開口幅	最大柱間隔	レール全長	戸車リアストッパー位置
25-07	5390	2735	2985	3800	3438
30-07	6390	3235	3485	4800	4438

表2-2 施工寸法表(W08開戸付きタイプの場合)

名称	施工に必要な間口	有効開口幅	最大柱間隔	レール全長	戸車リアストッパー位置
25-08	5490	2835	3085	3800	3438
30-08	6490	3335	3585	4800	4438

ポイント

- 壁の施工はガイド柱の位置までに行ってください。ガイド柱より戸当り側方向へ施工すると、ハンドルが干渉します。(※2)

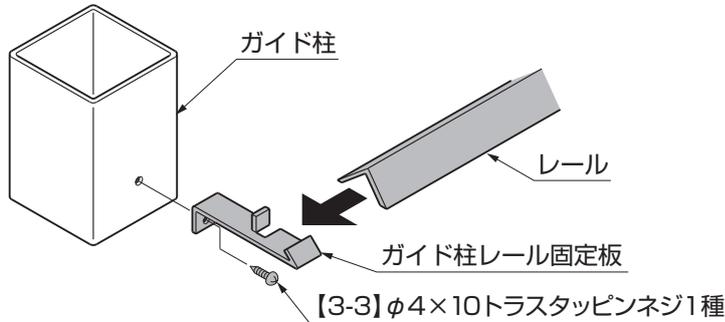
補足

- 施工に必要な間口は、引戸本体を全開にし、引戸の後車輪がレールの戸車リアストッパーに当たったときの吊元柱の外面から、引戸の後端までの距離です。(※1)
- 戸車リアストッパー位置は最大柱間隔で施工したときの目安の位置です。戸車リアストッパーは引戸本体の設置後、正確な位置に施工してください。

3. レールの取付け

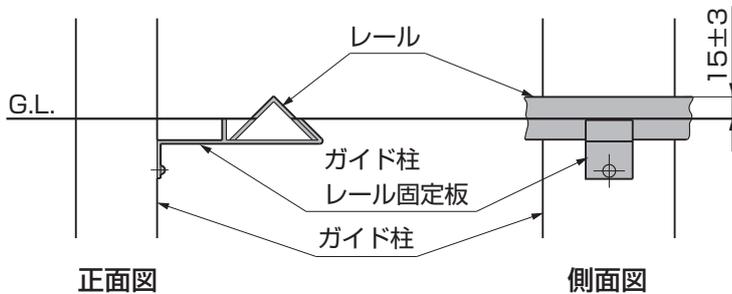
3-1 ガイド柱レール固定板の施工

(1) ガイド柱レール固定板の取付け



- ①ガイド柱レール固定板を【3-3】でガイド柱に取付けてください。
- ②ガイド柱レール固定板にレールを差込んでください。

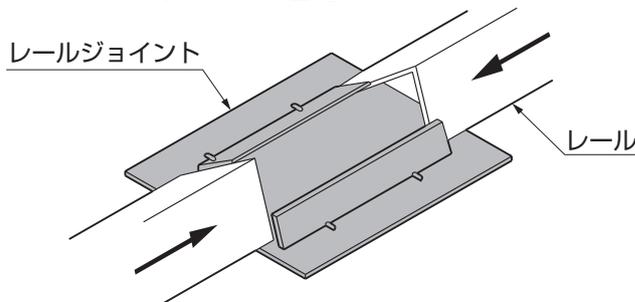
(2) ガイド柱納り図



ポイント

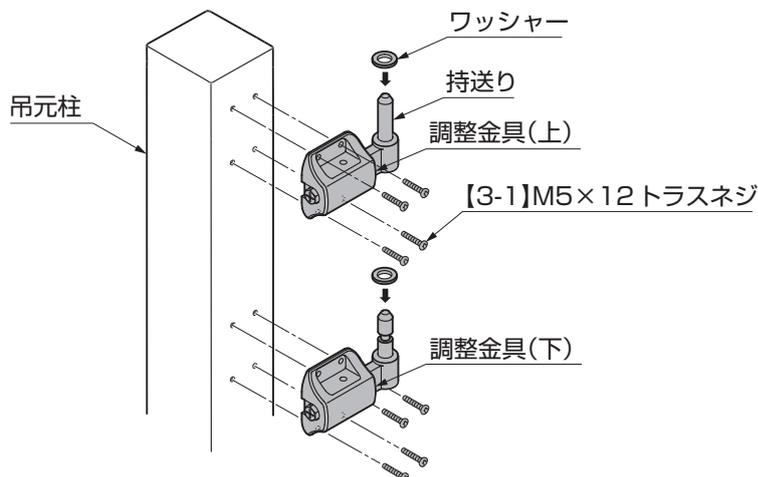
- レール固定板が隠れる程度に仕上げてください。
- レールはG.L.より15mm出るようにしてください。

(3) レールジョイントの組付け



- ①レールをレールジョイントに差込んでください。

4. 調整金具の取付け



- ①持送りの凸部にワッシャーを差込んでください。
- ②調整金具(上)(下)を【3-1】で吊元柱に取付けてください。

ポイント

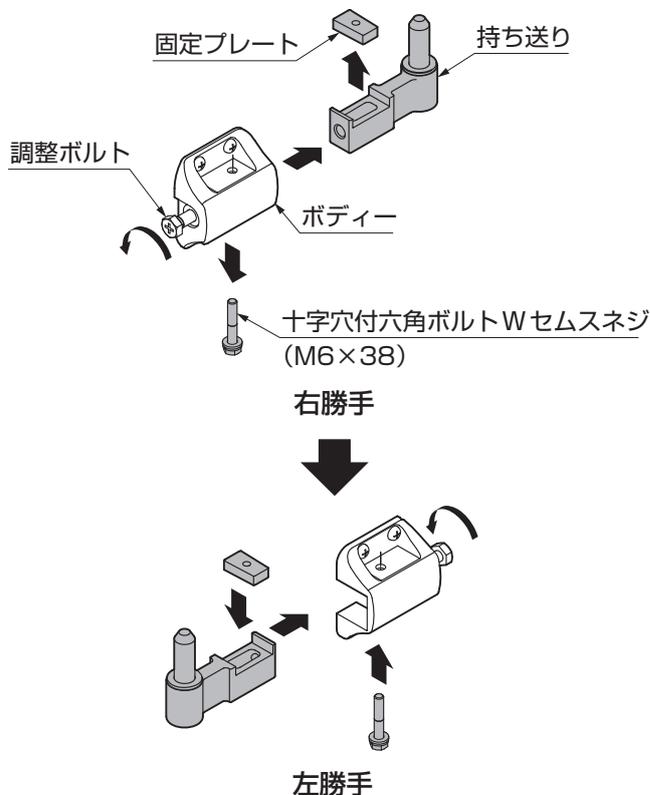
- 調整金具には右勝手用と左勝手用がありますので、取付け時にご注意ください。

補足

- 図は右勝手用です。

5. 調整金具の組替え方法

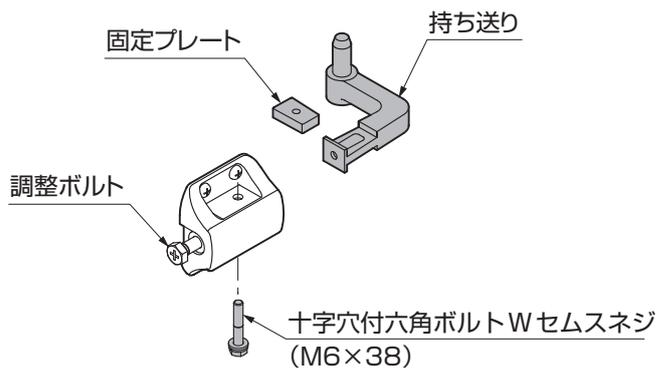
5-1 調整金具の組替え



- ①「十字穴付六角ボルトWセムスネジ」を外してください。
- ②調整ボルトをゆるめて持ち送りと固定プレートを外してください。
- ③ボディーの向きを変え、持ち送りに固定プレートを乗せてボディーに挿入してください。
- ④調整ボルトを締めてください。
- ⑤「十字穴付六角ボルトWセムスネジ」を締め、持ち送りを固定してください。

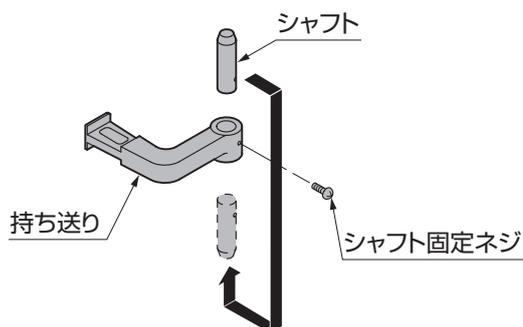
5-2 外開き用持ち送りの組立て **オプション**

(1) 持ち送りの組替え



- ①「十字穴付六角ボルトWセムスネジ」を外し、調整ボルトをゆるめて持ち送りを組替えてください。

(2) 片開き左勝手の場合



- ①シャフト固定ネジを外し、シャフトを組替えてください。

補足

- 調整金具の組替えは「5-1 調整金具の組替え」を参照してください。

6. ヒンジの取付け

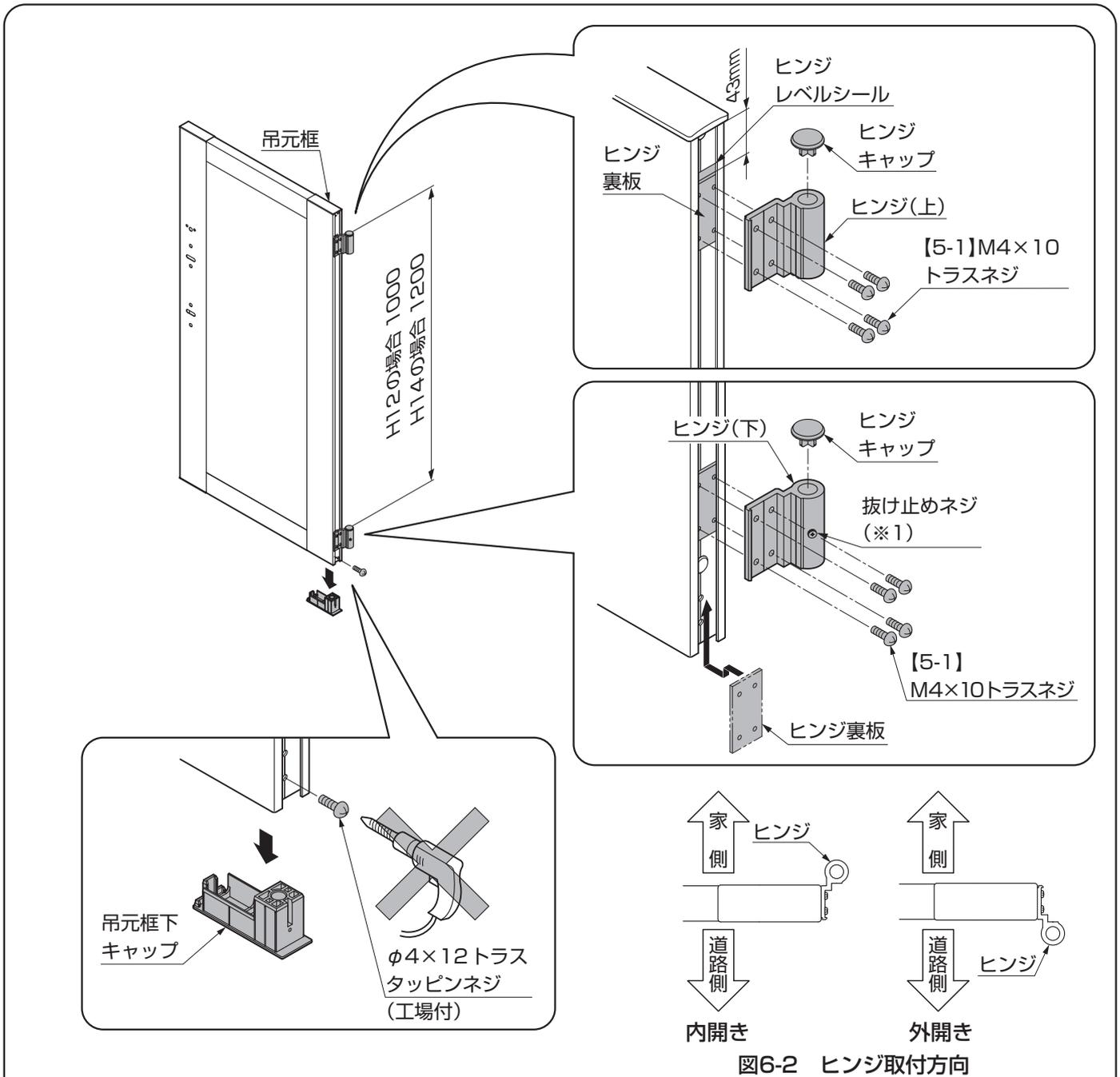


図6-2 ヒンジ取付方向

- ①吊元框下キャップを「工場付ネジ」をゆるめて外してください。
- ②ヒンジ裏板を吊元框下端からスライドさせて、ヒンジを図に示す位置に【5-1】で固定し、ヒンジキャップを取付けてください。

ポイント

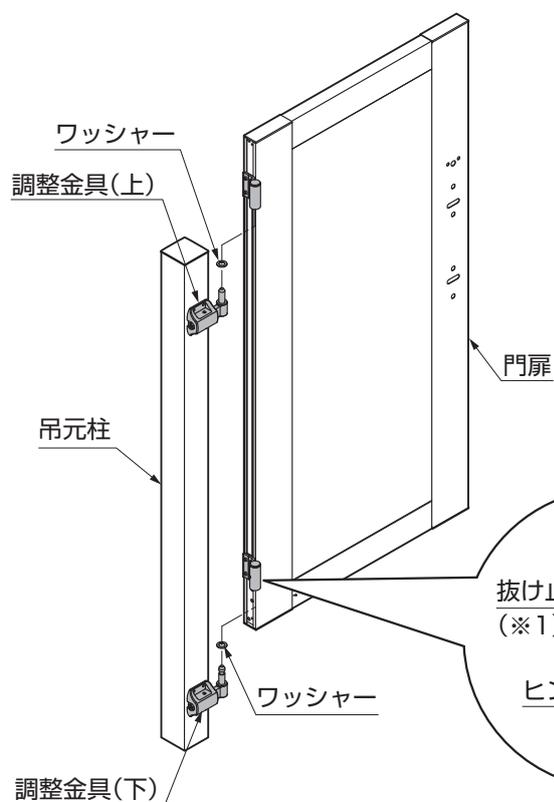
- ヒンジにはヒンジ(上)とヒンジ(下)の区別があります。抜け止めネジがついているヒンジがヒンジ(下)です。(※1)

- ③ヒンジの取付けが終了したら吊元框下キャップを付属のネジで取付けてください。

ポイント

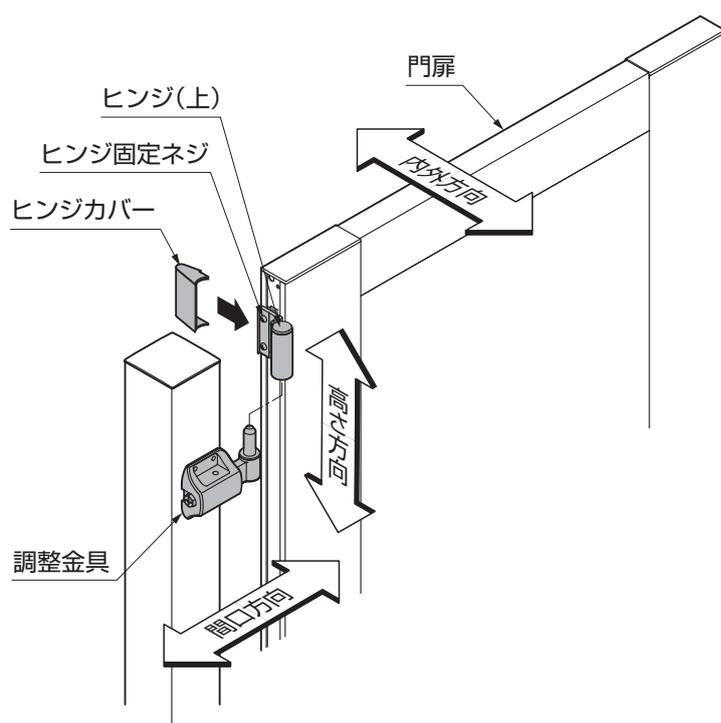
- 吊元框下キャップの取付けには、電動ドライバーを使用しないでください。

7. 門扉の吊込み



- ①ヒンジ(下)の抜け止めネジをゆるめてください。(※1)
- ②門柱に同梱のワッシャーを、調整金具シャフトに取付けてください。
- ③調整金具シャフトにヒンジ(上)、ヒンジ(下)を差込み、門扉を吊り込んでください。
- ④ヒンジ(下)の抜け止めネジをしめこんでください。

8. 門扉の調整



- ①高さ方向の調整方法は、ヒンジ固定ネジをゆるめ、ヒンジをスライドさせて調整してください。
- ②ヒンジカバーを取付けてください。

9. ガイドローラーおよび引戸本体の取付け

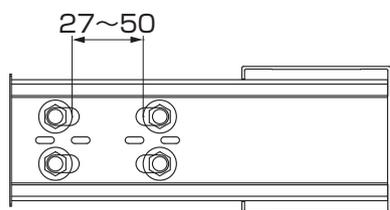


図9-1

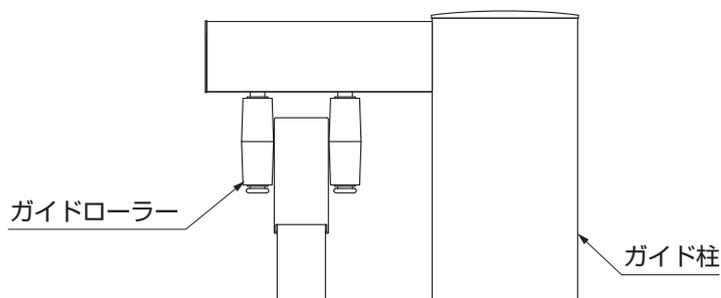


図9-2

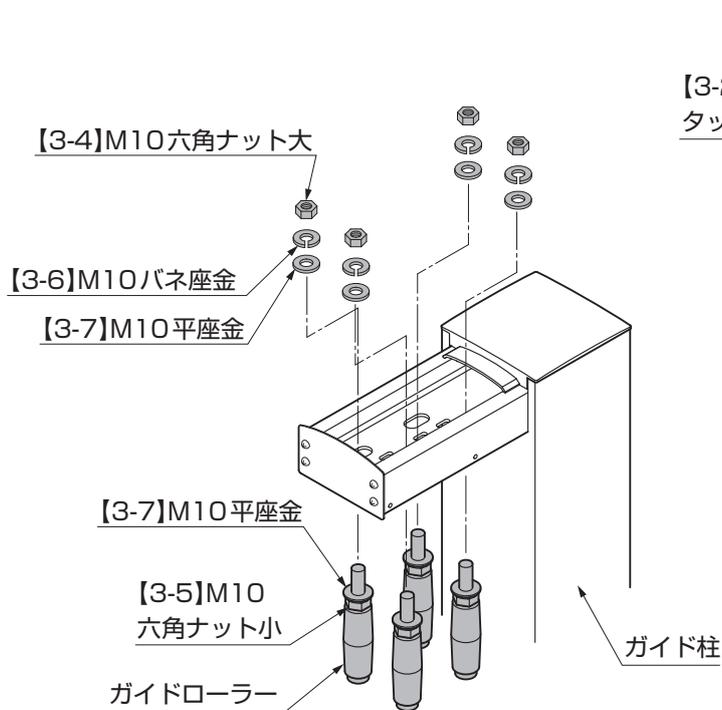


図9-3

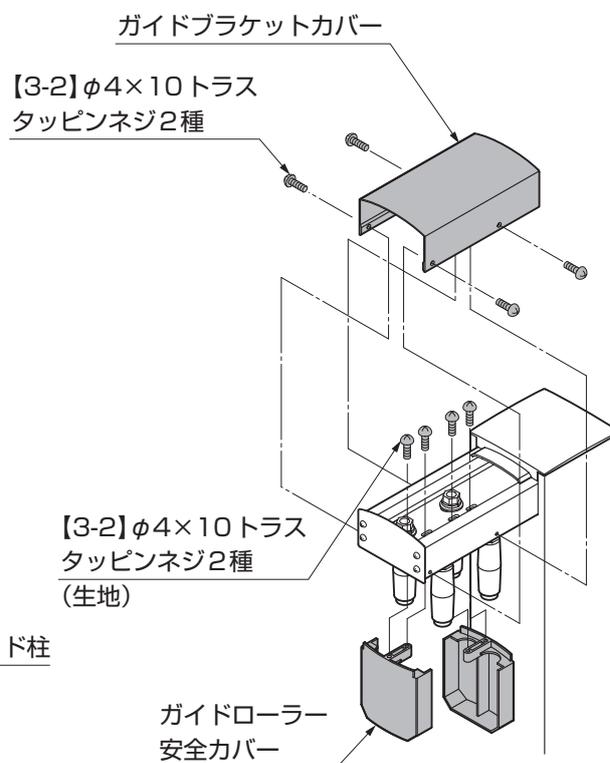


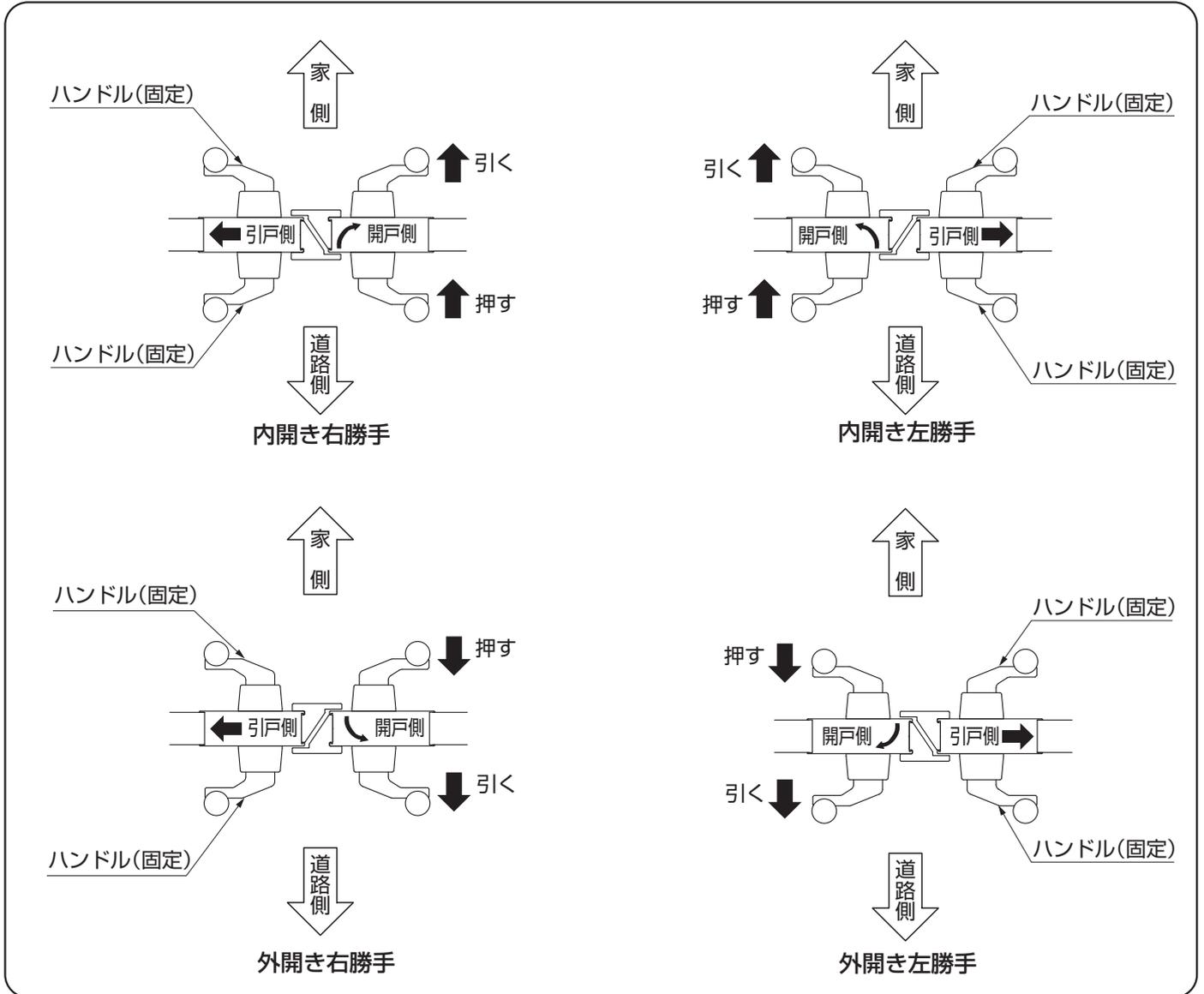
図9-4

- ①ガイドローラーセットを取付け、引戸本体の幅に合わせてガイドローラーの幅を調整してください。(図9-1、図9-3参照)
- ②ガイド柱の埋込み位置、水平、垂直を確認し、固定してください。(図9-2参照)
- ③ガイドローラー安全カバーを【3-2】で取り付けてください。(図9-4参照)
- ④ガイドブラケットカバーを【3-2】で取り付けてください。(図9-4参照)

補足

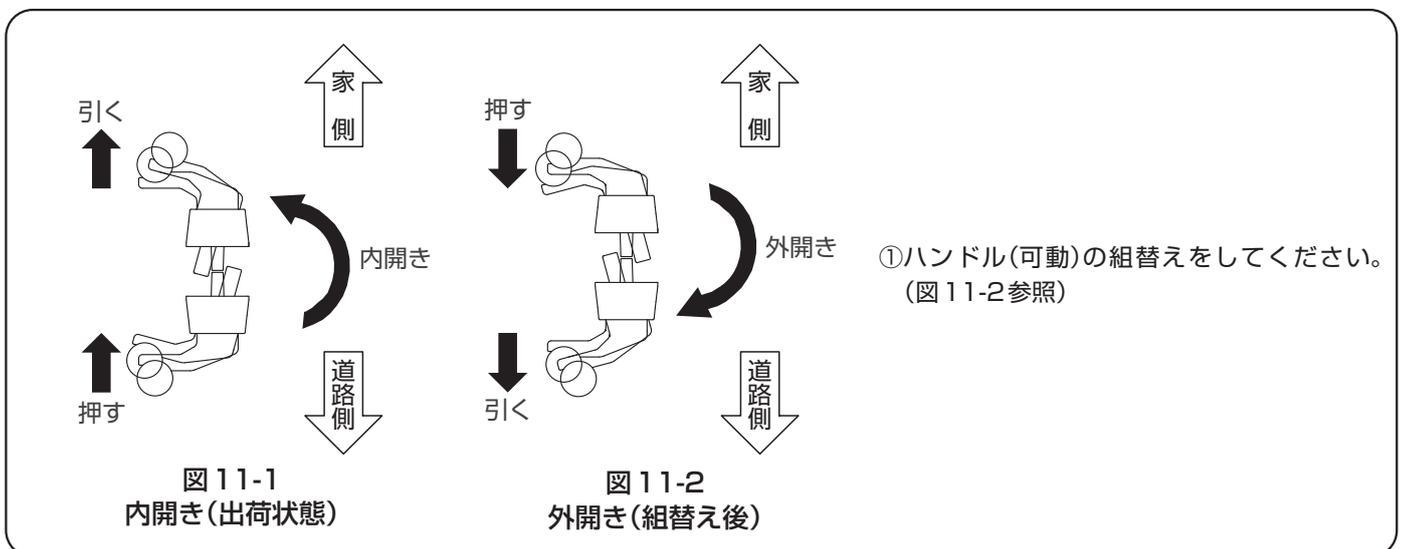
- ローラー類を仮組みし、引戸本体をレールに乗せ、本体の倒れ等を調整した後に本締めをしてください。

10. ハンドルの配置



11. ハンドルの組替え

※ハンドル(可動)は内開き状態で出荷されます。外開きの場合は、ハンドルの組替えが必要です。



11. (つづき)

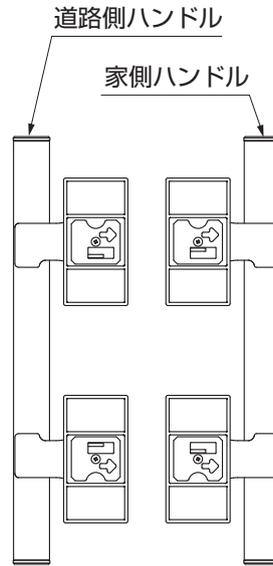
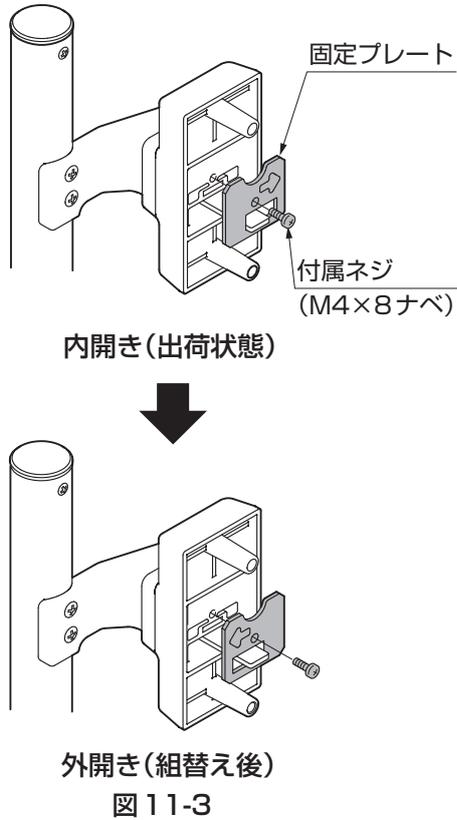


図 11-4 内開き

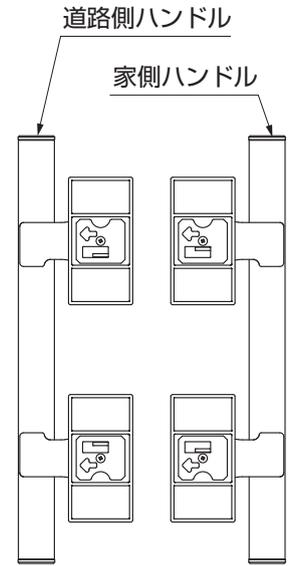
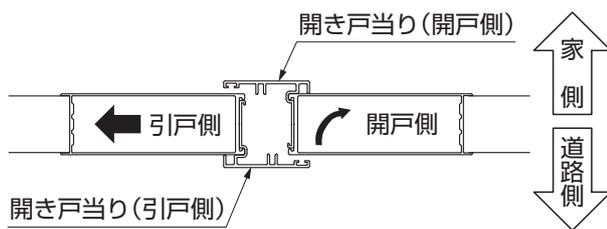


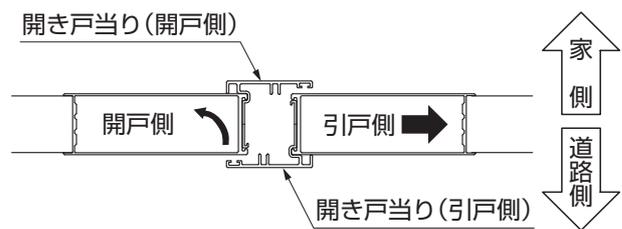
図 11-5 外開き

- ②ハンドル(可動)裏側の固定プレート4個を外して裏返して取り付けてください。(図 11-4、図 11-5 参照)
- ③ハンドル(可動)が正常に動くことを確認してください。(図 11-2 参照)

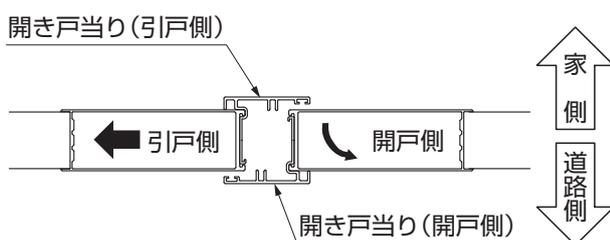
12. 開き戸当りの配置図



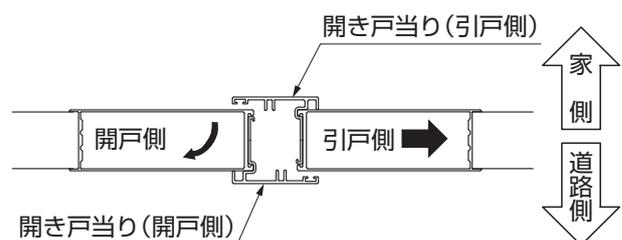
内開き右勝手



内開き左勝手



外開き右勝手



外開き左勝手

13. 錠とハンドルの取付け

13-1 開戸側の錠とハンドルの取付け

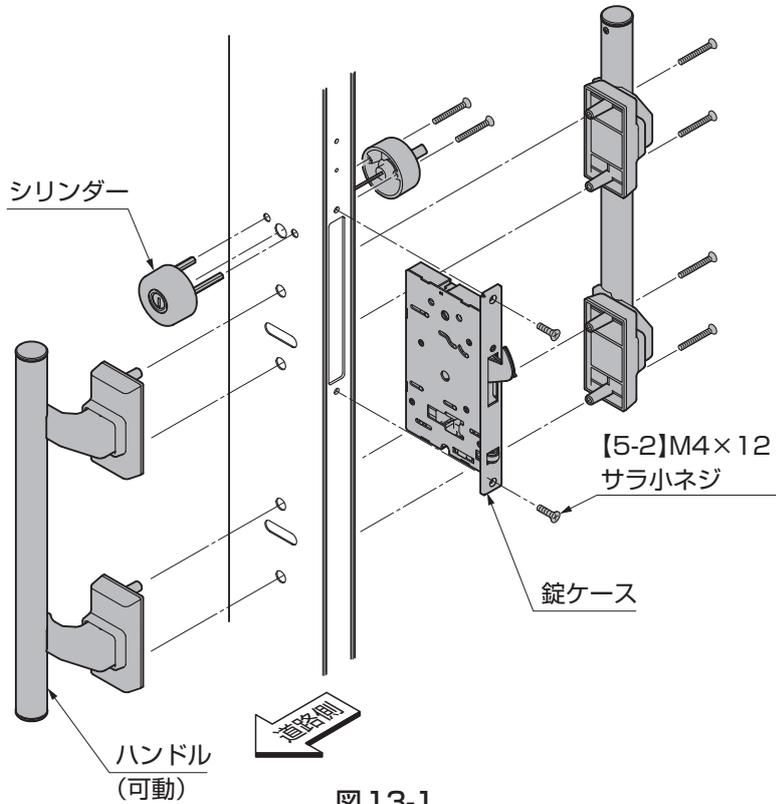


図 13-1

- ① 錠ケースを挿入し、ハンドルとシリンダーを固定してください。
- ② 錠ケースを【5-2】で固定してください。
(図 13-1 参照)

13-2 引戸側のハンドルの取付け

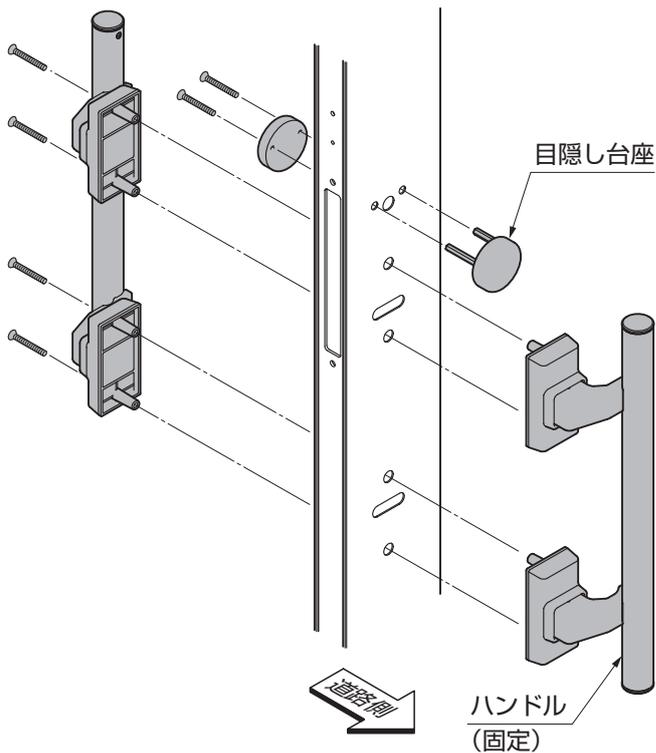


図 13-2

- ① ハンドルと目隠し台座を固定してください。
(図 13-2 参照)

13. (つづき)

13-3 引戸側開戸ストライクの取付け

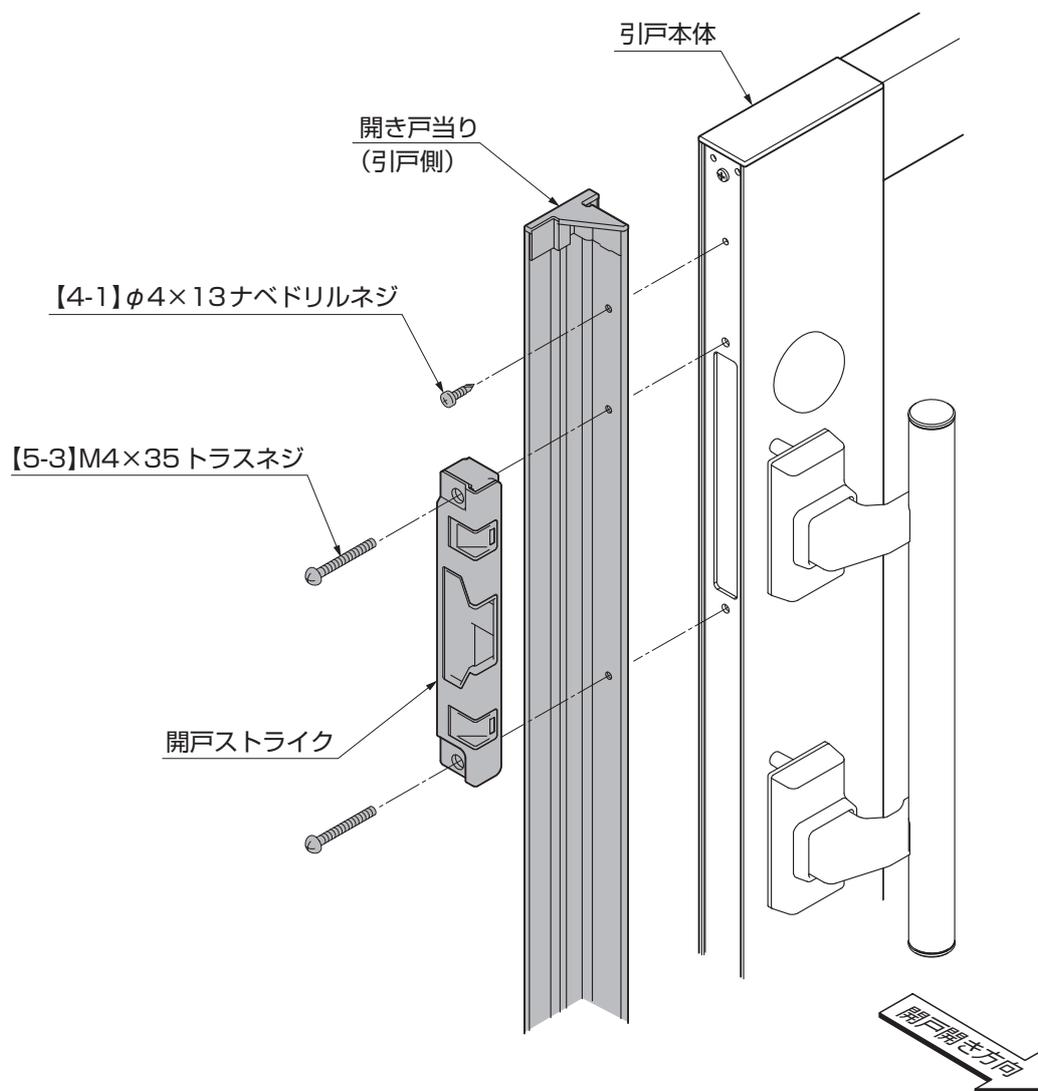


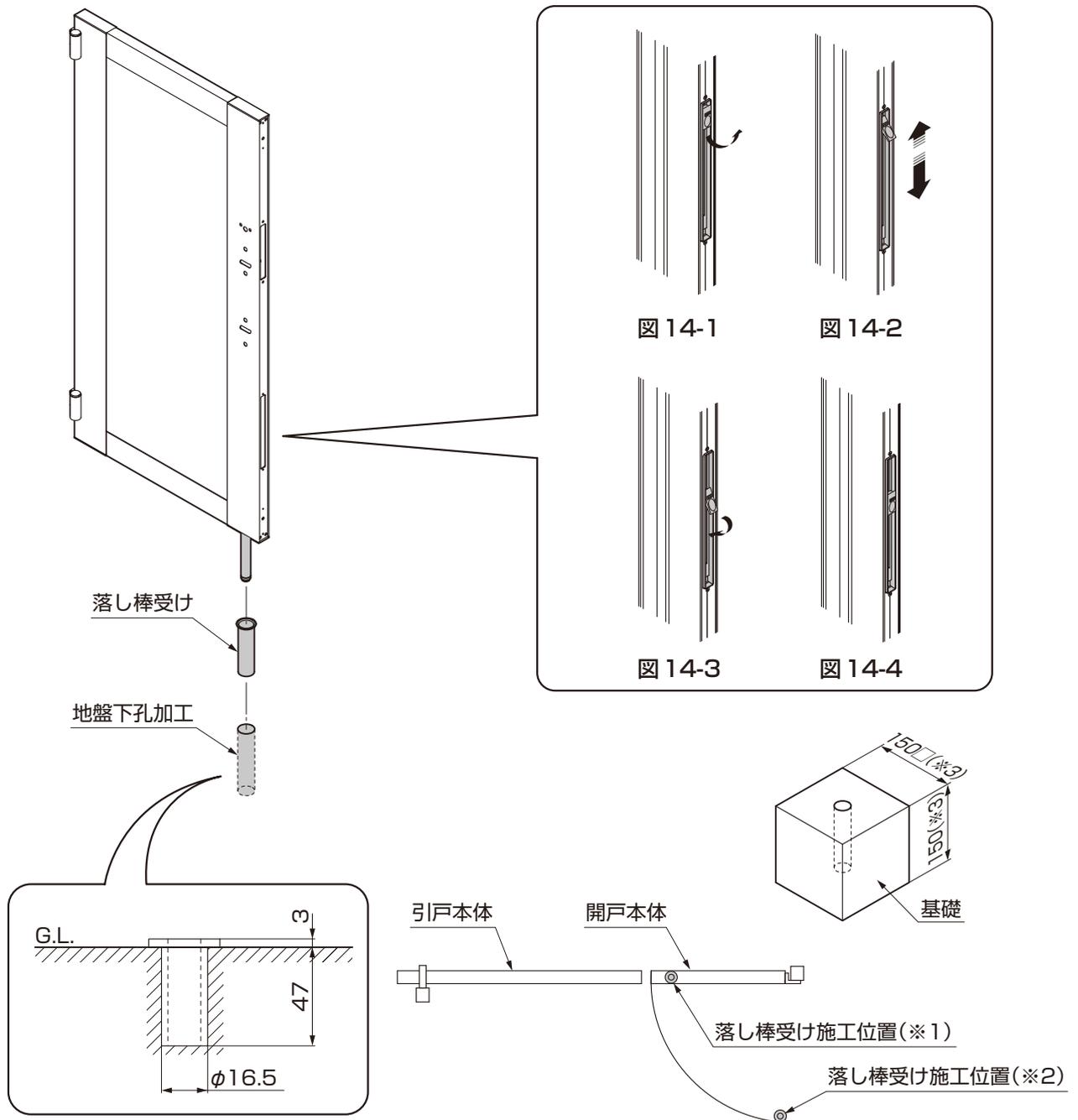
図13-3

- ①開き戸当りを【4-1】で固定してください。(図13-3参照)
- ②開戸ストライクを【5-3】で固定してください。(図13-3参照)

ポイント

- 引戸本体の開き戸当り固定用下穴は、上下2ヶ所のみ加工されているので引戸本体の下穴がない部分についてはドリルネジで固定してください。

14. 落とし棒の操作方法および落とし棒受けの施工



- ①扉を閉めた状態で落とし棒を収める位置に、落とし棒受けを施工してください。(※1)
- ②掛扉および受扉を開いた状態で落とし棒を収める位置に、落とし棒受けを施工してください。(※2)

ポイント

- 落とし棒受けの埋込位置は、現場合わせで決めてください。
- 基礎寸法は指定寸法以上にしてください。(※3)

補足

- 床面がタイル仕上げ等の場合は、落とし棒受けの施工時に、床面が割れないように注意してください。落とし棒は框の下面から最大180mmまで下がります。

15. 脱輪防止部品セットの取付け

15-1 下穴加工およびグリップアンカーの取付け

(1) 脱輪防止部品セットの位置合わせ

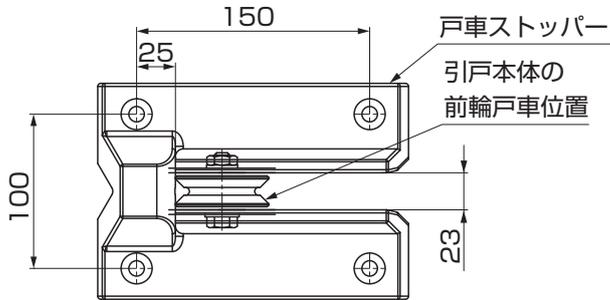


図15-1

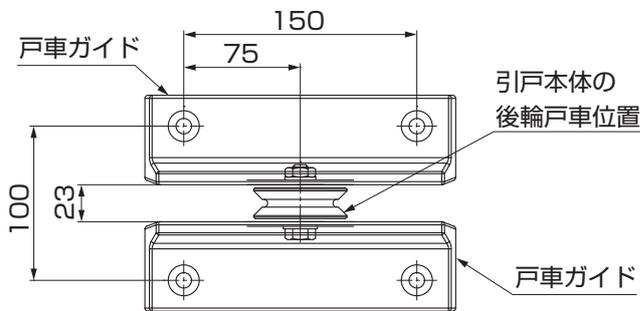


図15-2

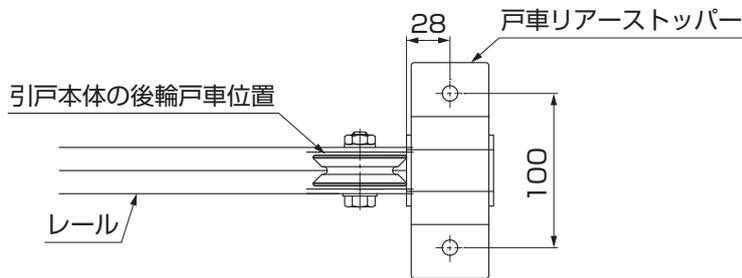


図15-3

①引戸本体を閉めた状態で引戸本体の戸車の位置にあわせて戸車ストッパーを位置合わせしてください。(図15-1参照)

②引戸本体を閉めた状態で引戸本体の戸車の位置にあわせて戸車ガイドを後輪の両サイドに位置合わせしてください。(図15-2参照)

ポイント

●引戸本体を動かしてスムーズに開閉する位置を確認してください。

③引戸本体を開けた状態で引戸本体の戸車の後輪の位置にあわせて戸車リアーストッパーを位置合わせしてください。(図15-3参照)

(2) 下穴の加工

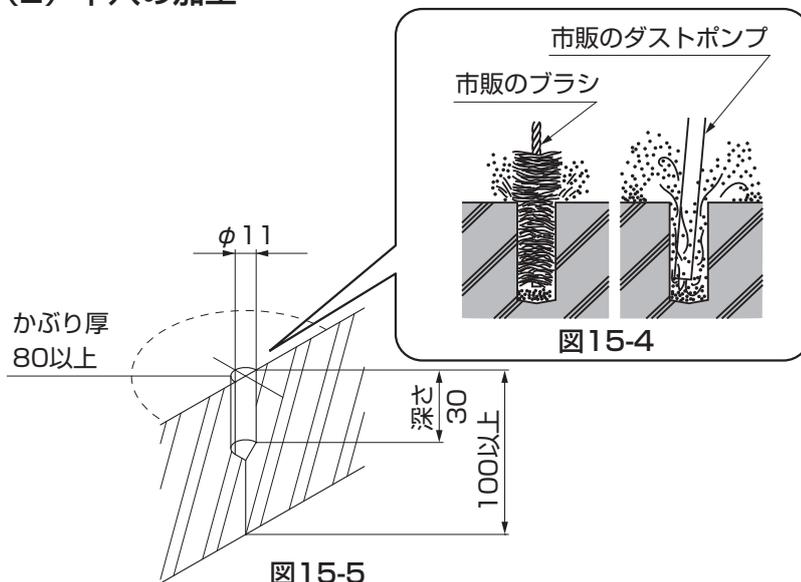


図15-5

①引戸本体を取外し、φ11のドリルで基礎部に必要な深さの穴をあけてください。(図15-5参照)

②市販のブラシとダストポンプで掃除をくり返し、穴の中の切粉を取除いてください。(図15-4参照)

ポイント

●アンカーの施工の基礎部の穴周囲のかぶり厚は80mm以上にしてください。
●タイル張りなどの仕上げをする場合は、必ず仕上げを行なう前に転倒防止セットの施工を行なってください。

(3) グリップアンカーの打ち込み

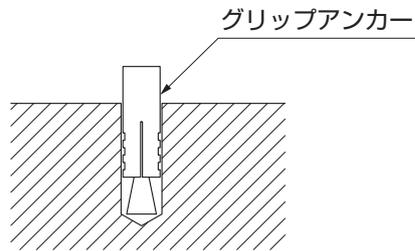


図15-6

- ①グリップアンカーを軽く叩いて挿入し、手ごたえが変わるまでハンマーなどで叩き込んでください。(図15-6参照)

15-2 脱輪防止部品セットの取付け

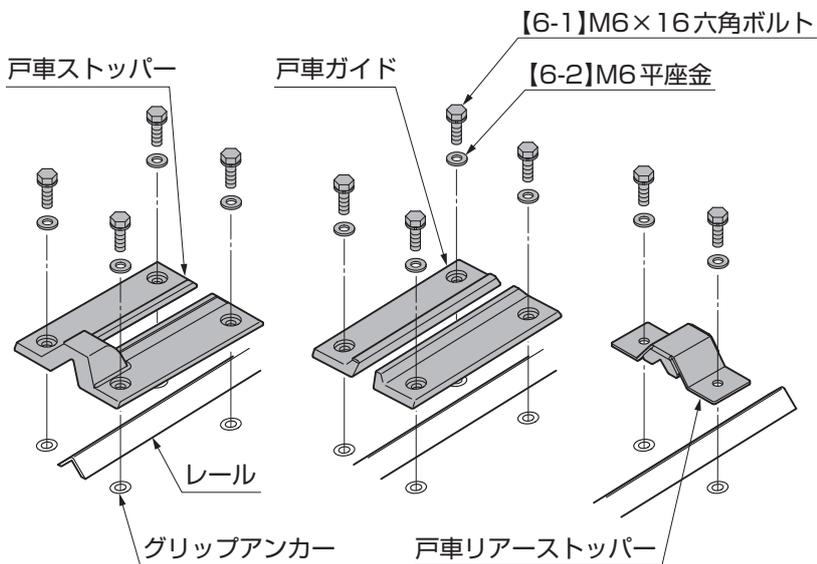


図15-7

- ①戸車ストッパー、戸車ガイド、戸車リアストッパーを[6-1]、[6-2]で固定してください。(図15-7参照)

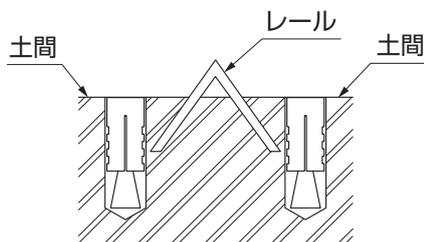


図15-8

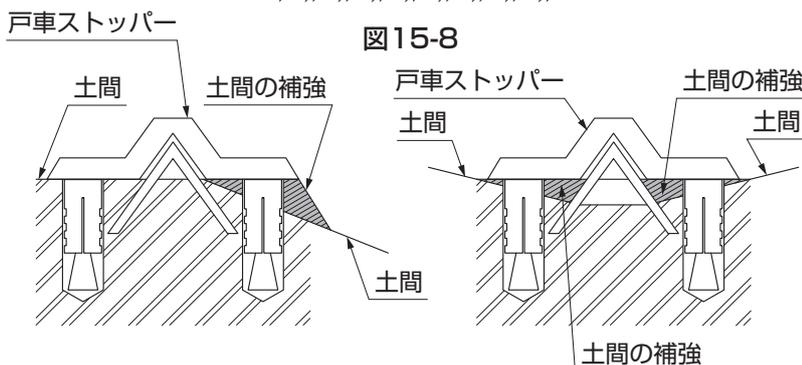


図15-9

図15-10

ポイント

- 脱輪防止部品セットを取付ける土間は、レールを挟んで左右が水平であることを確認してください。(図15-8参照)
- 水平ではない場合、土間を補強してから取付けてください。(図15-9、図15-10参照)
- 水平ではない土間に取付けた場合、脱輪防止部品セットが割れるおそれがありますのでご注意ください。

16. 落とし棒の取付け ※落とし棒は、引戸側に取付けてください。

16-1 合掌框の下穴加工および落とし棒の取付け

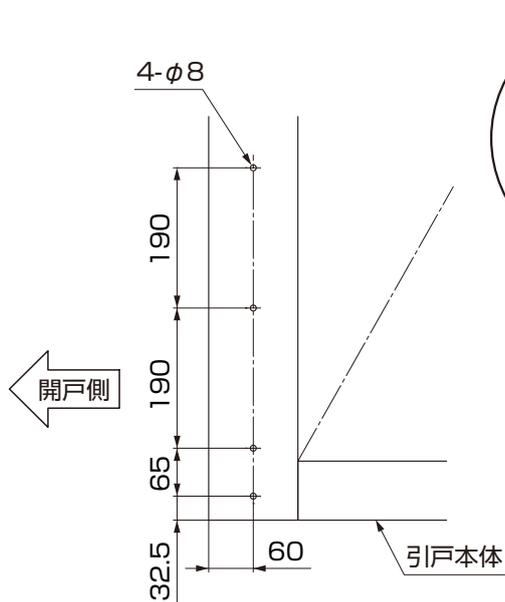


図 16-1

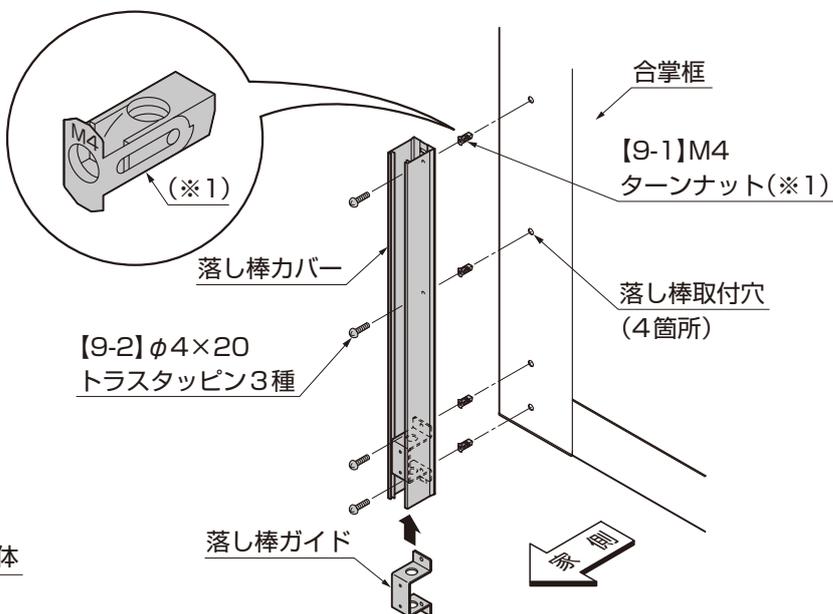


図 16-2

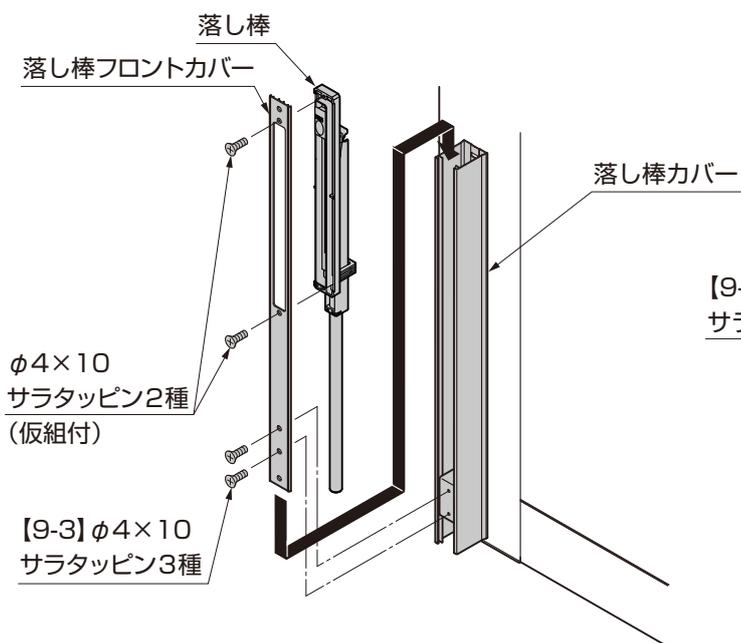


図 16-3

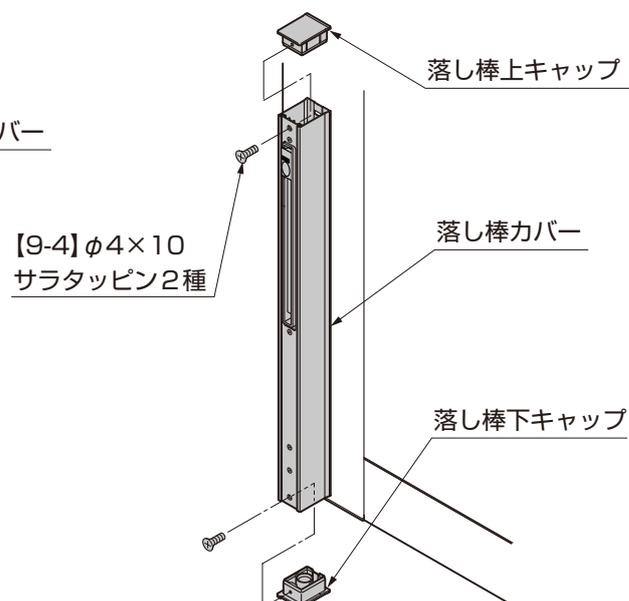


図 16-4

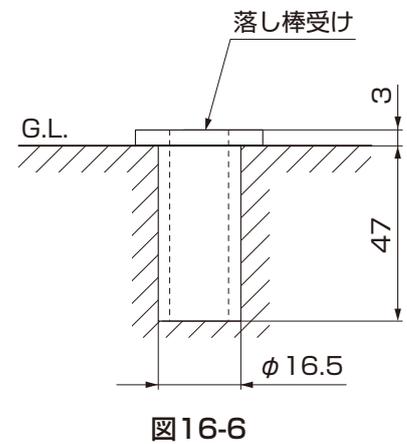
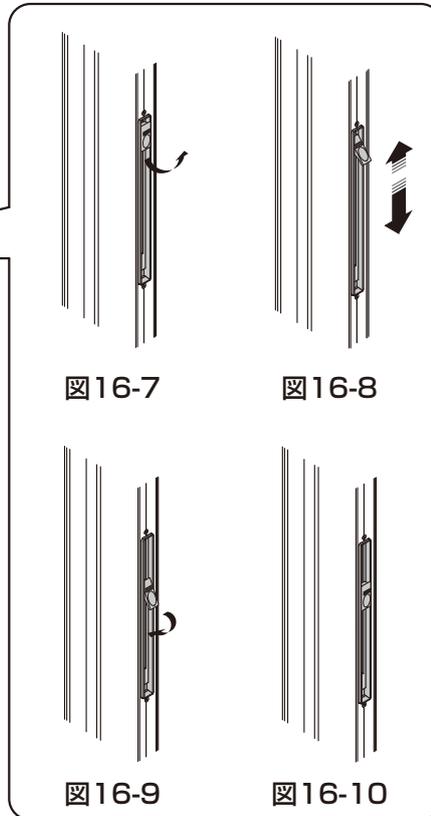
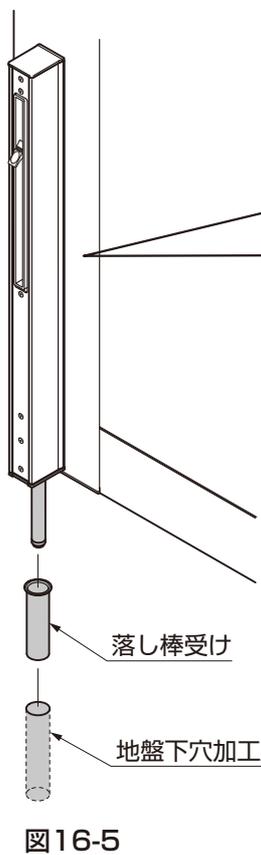
- ①合掌框の家側にφ8穴を4ヶ所加工してください。(図16-1参照)
- ②合掌框の(目)で加工した穴に【9-1】(※1)を差込んでください。(図16-2参照)

補足

- ターンナット(※1)を差込むときは、「M4」の表示を上になしてください。

- ③仮組付けしてある落とし棒と落とし棒フロントカバーを落とし棒カバーに上から差込んで、落とし棒ガイドに【9-3】で取付けてください。(図16-3参照)
- ④落とし棒と落とし棒フロントカバーを仮組付けしているネジを締込んでください。
- ⑤落とし棒カバーに落とし棒上キャップと落とし棒下キャップをそれぞれ【9-4】で取付けてください。(図16-4参照)

16-2 落とし棒受けの施工と落とし棒の操作方法

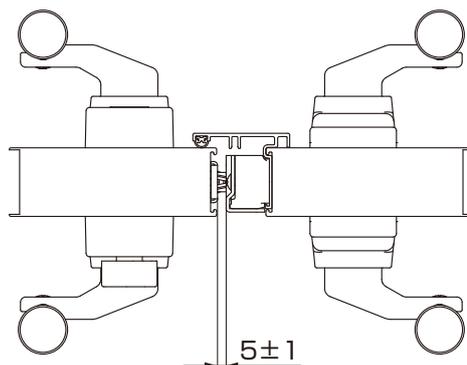


- ①本体の落とし棒に合わせて落とし棒受けの下穴を施工してください。(図16-5、図16-6参照)
- ②落とし棒受けを①で施工した穴に圧入してください。(図16-5参照)

ポイント

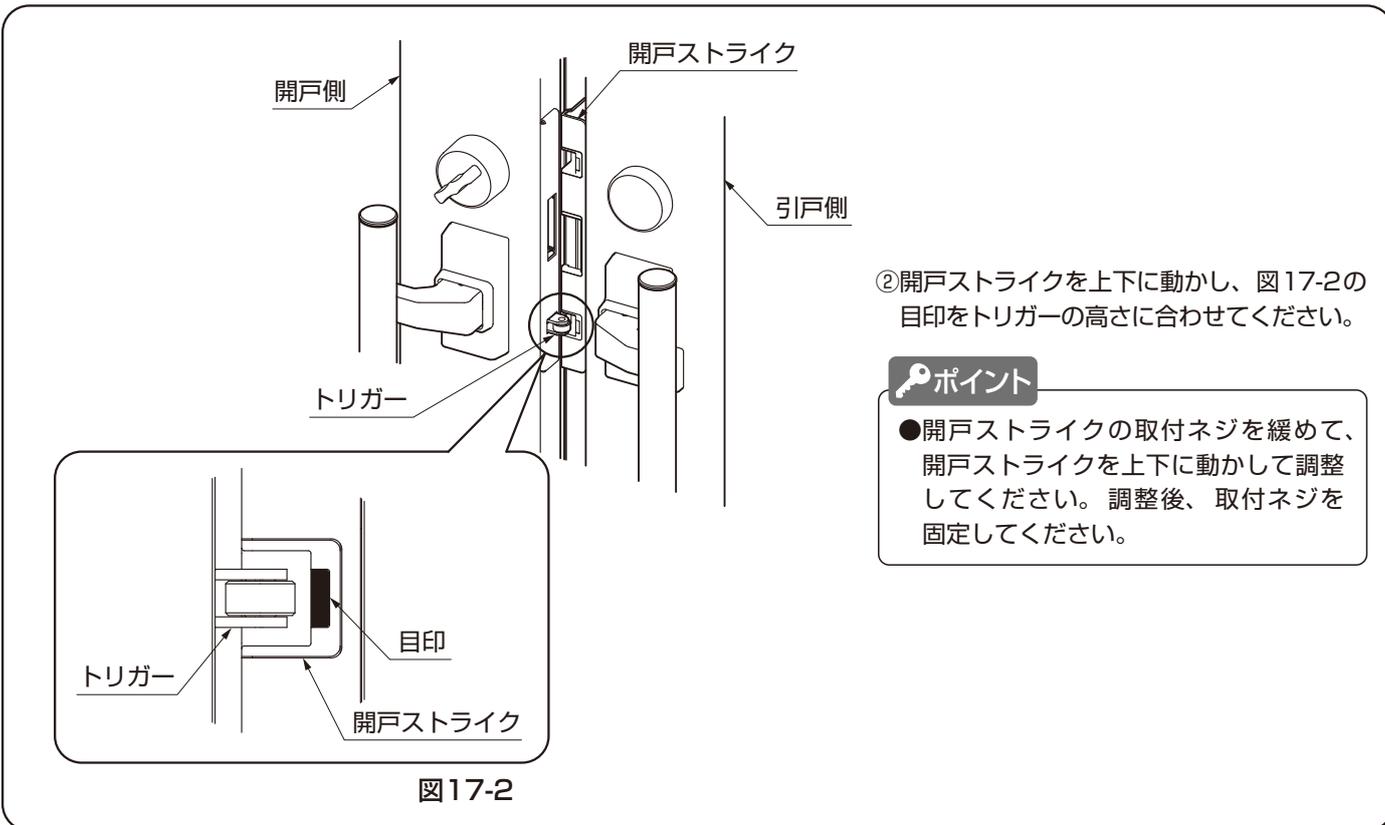
- 施錠状態で本体の落とし棒の位置に合わせて落とし棒受けの施工をしてください。
- 落とし棒受けは引戸本体を閉めた状態と、引戸本体を開けた状態の2ヶ所に施工してください。

17. 錠取付け位置の調整

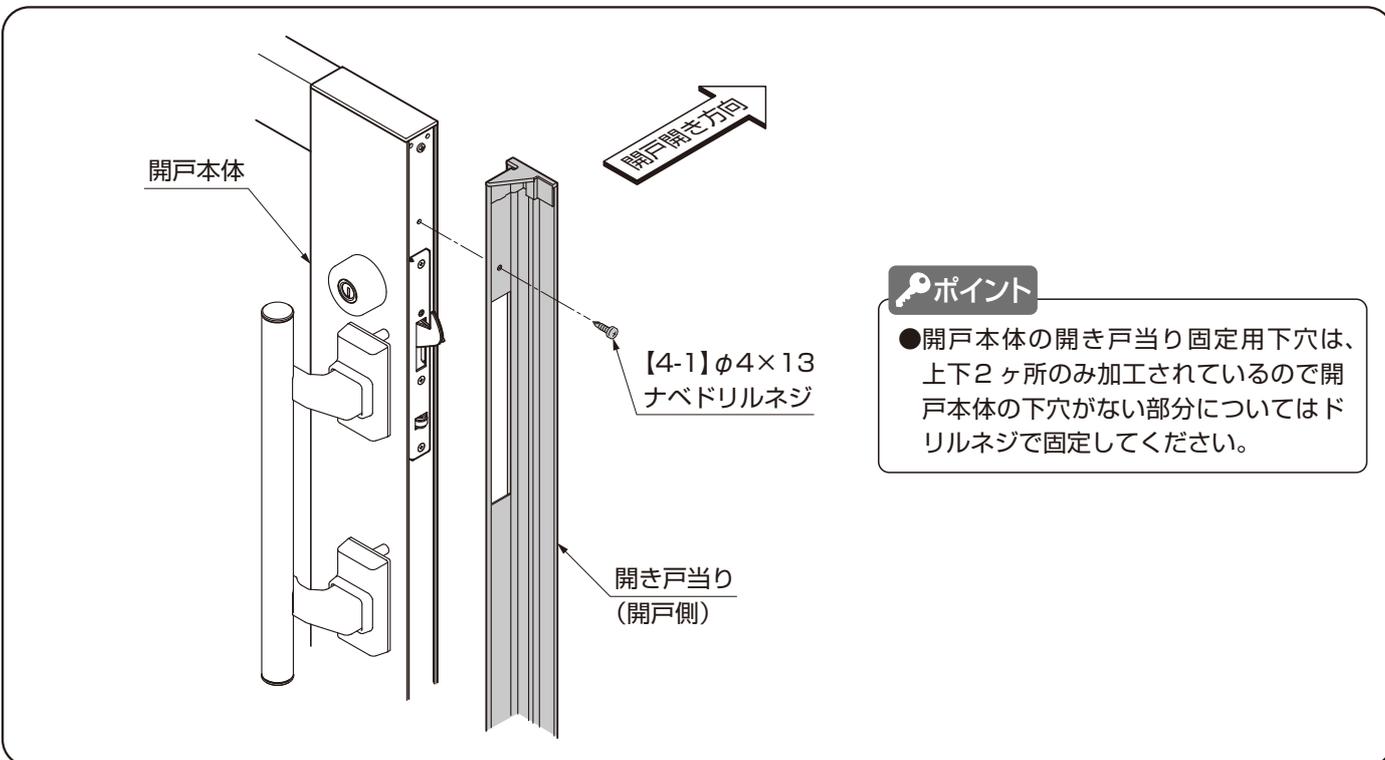


- ①「8.門扉の調整」を参考に開戸を調整し、錠錠と開戸ストライクのすきまを5mmに合わせてください。(図17-1参照)

17. (つづき)



18. 開き戸当り(開戸側)の取付け



取説コード

D478

JZZ618399E
200903A_1007
201510F_1049